

盛岡市短期集中型プログラミング講座実施報告書

令和7年2月28日
株式会社NEXT REVOLUTION

1. 実施概要

- 目的

本講座の実施目的（IT人材育成、地元定着の促進、起業・就職支援）

- 開催日程

令和6年 8月17日（土）、8月18日（日）、8月20日（火）、8月21日（水）、
8月22日（木）、8月24日（土）、8月25日（日）、9月15日（日）
各9:00 ~ 18:30

※バスの都合上、8月17日（土）は10:00 ~ 18:30、8月25日（日）は
9:00 ~ 16:30

- 開催場所

旧繫小学校（岩手県盛岡市繫館市114-1）



9/15(日)のみアイーナ・いわて県民情報交流センターの会議室501Aで開催



- 募集・応募状況

募集期間：令和6年6月10日（月）～ 令和年7月16日（火）8:00まで

選考基準：志望動機および事前学習後の確認テストの結果を基に選考

選考会：令和6年7月18日（木）10:30より、盛岡市役所 商工労働部にて実施

当選者：15名

- 宿泊施設

丸家旅館（岩手県盛岡市繫舘市2-4）

2. カリキュラム内容

● 講座のテーマ

Pythonの基礎文法とより実用的なコーディングを学習し、オリジナルのアプリケーションを作成するためのスキルを身に付けること。

● カリキュラムの概要

- プログラミングを実行するための環境構築
- HTMLとCSSの基礎文法
- Pythonの基礎文法
- Git、GitHubの使い方
- Linuxの基本的なコマンド
- Pythonを使用したWebアプリケーションの作成
- LINE Botの作成
- 自主制作

● 授業内容

【1日目：令和6年8月17日】

開講式を実施しました。



開講式後に、Pythonの基本文法についての講義を実施しました。

初日の講座終了後、丸屋旅館にて懇親会を実施しました。

参加者：19名

【2日目～7日目：令和6年8月18日～令和6年8月25日】

以下の内容について講義を実施しました。

- Git、GitHubの使い方
- Linuxの基本的なコマンド
- Pythonを使用したWebアプリケーションの作成
- LINE Botの作成

講座の風景



講義中や休憩時間にも参加者同士が積極的にコミュニケーションを取り、お互いに教え合いながら、和気あいあいと受講する姿が見受けられました。

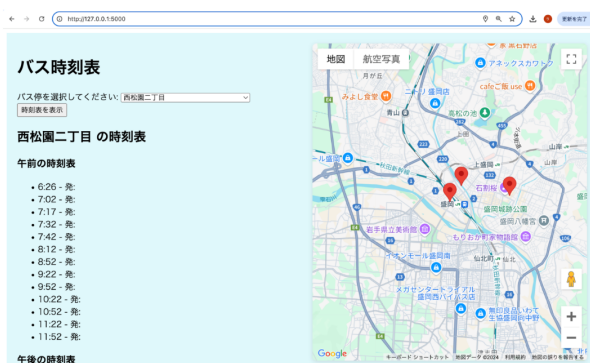
3. 受講者の成果

8月26日から9月15日までの間、各自自主制作に取り組んで頂きました。制作したオリジナルのアプリケーションを各自プレゼンして頂きました。

会場：アイーナ・いわて県民情報交流センターの会議室501A

タイトル：生活サポート・プラス

概要：車を持たない高齢者や免許を返納した高齢者が安心して生活できるよう、移動手段や生活サポート、地域コミュニティとの連携を通じて、自立した生活を支援するWebアプリケーション

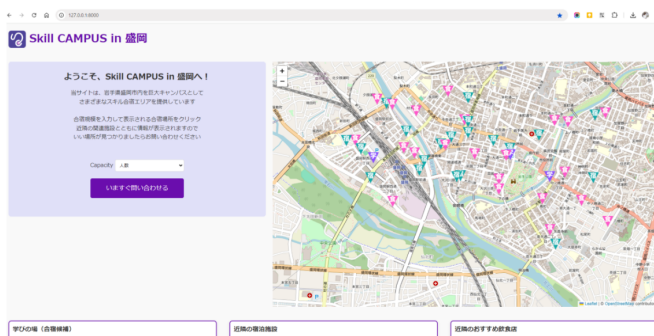


【講評】

高齢者への聞き取りを行い、ユーザーが使いやすいアプリを作ろうとされている点が素晴らしいと思います。完成時のイメージもしっかりしているので、ぜひ継続して開発を進めてください。

タイトル：Skill Campus in 盛岡

概要：学び場を拠点に「食」と「宿」を利用してもらうWebアプリケーション

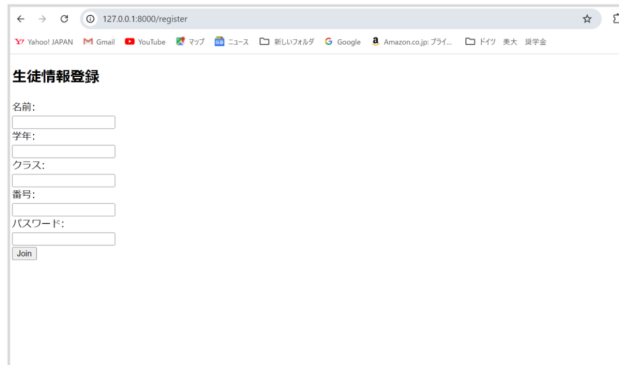


【講評】

地図アプリを作成できて良かったです。ChatGPTを活用しつつ、自ら手を動かしながら開発を進められた点が素晴らしいと思います。使用するAPIの選定もしっかりと行われていたのが印象的でした。

タイトル：Morioka Home School

概要：不登校児童・生徒のための学習Webアプリケーション



生徒情報登録

名前:

学年:

クラス:

番号:

パスワード:

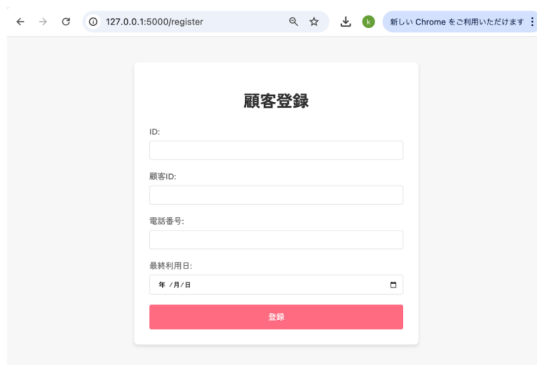
Join

【講評】

アプリのイメージはお持ちのようですが、アプリがまだ完成していないところが残念でしたが、前向きにとらえられており、何かの形で今後もアイデアを生かしていただければと思います。

タイトル：ペットホテルのWeb予約アプリケーション

概要：ペットホテルをWebから予約できるWebアプリケーション



顧客登録

ID:

顧客ID:

電話番号:

最終利用日:

登録

【講評】

サービス内容が明確であるため、実用レベルに近いものができたと思います。サービスの課題もしっかりとあらいだしできているので、今後の開発が楽しみです。

タイトル：リショクガード

概要：ChatGPTを活用し、社内のコミュニケーションを改善して離職率を下げるアプリケーション



【講評】

実用的なアプリを作成できていると思います。また、実社会にニーズがあるのではないかと思います。しっかりとリサーチされ、複数のAPIをうまく使いこなせている印象でした。

タイトル：昔話AIおばあちゃん

概要：ChatGPT APIとgTTS APIで開発した、昔話を音声で楽しめるアプリケーション

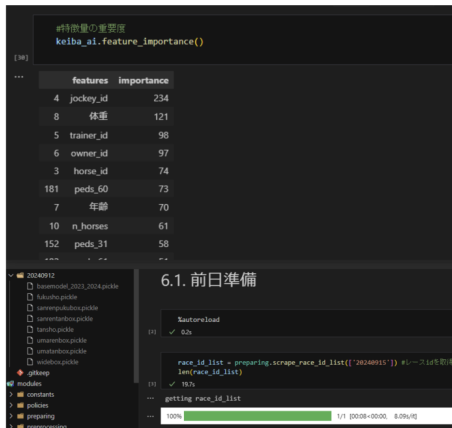


【講評】

生成AIも活用したアプリを作成して、時代にあったものを作成されていてよかったと思います。方言の実装など、今後の課題もしっかりと考えられていたのが印象的でした。

タイトル：競馬予想AI

概要：初心者でも安心して楽しめる競馬予想AI



```
#特徴量の重要度
keiba_ai.feature_importance()

[38]:
...
features importance
4 jockey_id 234
8 体重 121
5 trainer_id 98
6 owner_id 97
3 horse_id 74
181 pedis_60 73
7 年齢 70
10 n_horses 61
152 pedis_31 58
...

6.1. 前日準備

Restarted
✓ 0s

race_id_list = preparing_scraps_race_id_list(['20240517']) #1→7145回
len(race_id_list)
✓ 183

getting_race_id_list
100% |#####| 1/1 2024-05-01 4:29:40
```

【講評】

技術的に高度なところを目指したために完成までは至っていませんが、かなりの部分が実装できており、今後に期待したいと思います。

タイトル：小児科医院来院前予約アプリ

概要：待ち時間を減らすための小児科専用予約アプリケーション

小児科予約システム

保護者名:

お子様の名前:

お子様の年齢:

予約日:
年 / 月 / 日

予約時間:
--:--

症状:

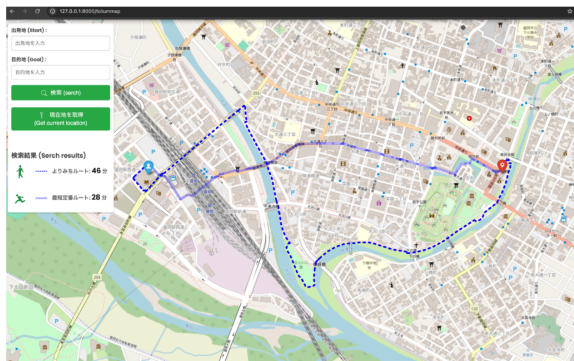
連絡先:

【講評】

これまで学んだ技術を活用してアプリを開発できたことは、とても良かったと思います。他のメンバーの作品を参考にすることで、さらに良いものになると思うので、ぜひ継続して開発していただきたいです。

タイトル：よりみち

概要：最短経路ではなく、町の魅力を知ってもらうため、あえて遠回りするルート案内するアプリケーション

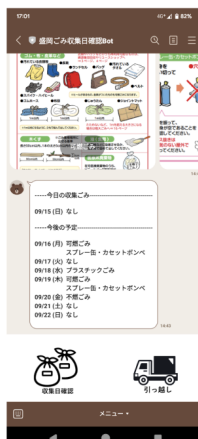


【講評】

Foliumを応用し、ボタンの追加やルート検索の機能を組み込んでおり、とても良いアプリだと思います。あえて遠回りするというコンセプトもユニークなので、さらに細かい部分の制御を強化することで、より面白いアプリになるとと思います。

タイトル：ごみ収集日確認アプリ

概要：町名の入力から地区を特定し、その地区の当日の収集ゴミの種類を返すLINE Bot

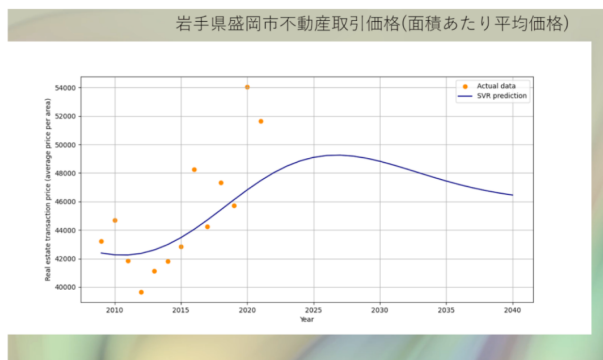


【講評】

LINE Botとして動作する形でアプリが完成しており、とても良いと思います。出力されるデータも正確で、完成度が高いと感じました。さまざまな自治体などで活用できる可能性のあるアプリなので、ぜひ継続して開発していただきたいです。

タイトル : City Forecaster

概要 : 内閣府が提供するビッグデータを地域経済分析システム (RESAS: リーサス) からデータを取得し、それらを基礎資料とし、何らかの方法で分析することで地域の予測を行うアプリケーション



【講評】

プレゼン資料も工夫されており良かったと思います。データをAPIから持って来ることで、別のデータへの応用もできるのではないかと思います。

タイトル : 飲食店混雑状況アプリ

概要 : 飲食店の混雑状況がリアルタイムで把握できるアプリケーション

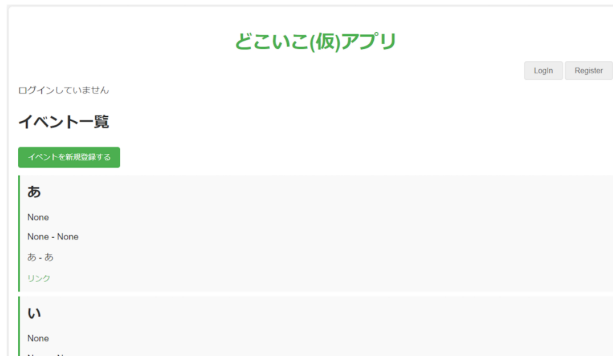


【講評】

アプリの発想が斬新で素晴らしいと思います。例えば、混雑具合をGoogleから取得したり、店員に入力してもらうなどの運用ができれば、マネタイズの課題はあるものの、リリースの可能性が十分にあると感じました。

タイトル：どこいこ

概要：「ちょっと遊ぶ」を地図から検索するアプリ



【講評】

使い勝手の良いアプリを作ろうとする姿勢が素晴らしいと思います。よく調べ、積極的に質問した成果がしっかりと反映された、完成度の高いアプリになっています。ぜひキャンプでの学びを活かし、引き続き開発を続けていただければと思います。

4. まとめ

約1ヶ月間にわたり、7日間の講義、3週間の自主制作、そして成果発表を通じて講座に取り組んでいただきました。何かを学びたい、新しいことに挑戦したいという意欲を持つ方々が参加され、ビジネスやプログラミングに関する活発な議論が交わされていました。

今回は2日間または3日間連続で講義を実施したため、復習の時間が十分に取れない状況でしたが、受講者の皆さんは自主制作期間を活用し、復習しながら開発を進めていました。また、チャットツールを通じて積極的に質問が寄せられ、何か形にしたいという強い意欲が伝わってきました。

講義で学んだ内容にとどまらず、新たな技術にも積極的に挑戦し、自主制作の作品も多様なアイデアが反映されたものとなりました。会場が旧繫小学校であったこともあり、中心部から離れた静かな環境で、集中して学習に取り組むことができた印象です。

アンケート結果によると、約半数の受講者が今回のような短期集中型（1週間連続受講）の講座形式を希望していました。今後は、受講者の皆さんがIT企業への転職や起業、自社のDX推進に向けてさらに成長できるよう、スパルタキャンプコミュニティを通じたサポートを継続していきたいと考えています。